

1 電力会社の総会

東京電力の株主総会：

- ① 開催時間 6 時間 9 分
- ② 来場株主数 9, 3 0 9 名

福島第 1 原発での事故の対応や脱原発を巡る多くの質問
議長不信任動議
休憩動議

他の電力会社でも、原発関連の発言が飛び交い、長時間総会の上位 5 社までが電力会社。

2 一般の企業の総会

議長から東日本大震災で被害を受けた方へのお見舞いの言葉
黙とう実施

総会中に大きな地震が発生した場合に備え、避難誘導経路をスクリーンに投影したり、あらかじめ書面を配布
会場建物の耐震設計を説明し安全性を強調する会社

電力会社や一部の不祥事が発生した会社を除き、概ね平穩に終わる。

3 WEB 開示とクールビズ

WEB 開示の進展：

前年 6 月総会では 4 4 社⇒今年の 6 月総会では 1 8 4 社

クールビズ対応の進展：

前年 6 月総会では 1 4 社⇒今年の 6 月総会では 1 6 2 社

他方で、「株主総会は株式会社の最高の意思決定機関であり、正装で臨むべき」という意見
⇒ネクタイ着用を貫く会社も多い。

大切なのは「節電への取組み」

4 被災者支援への活用

日産自動車：

株主懇談会の開催を見送り、その費用相当額を東日本大震災の被災者支援に充てる旨を招集通知に記載。

インターニックス：

株主懇談会を簡素化して、その費用を義援金とすることを招集通知に記載。

オートウェーブやG-7ホールディングス：

お土産を取りやめてその費用を義援金とすることを招集通知に記載。

その他、

- ・総会会場で即売会を実施してその売上げを義援金に
- ・お土産として被災地のお菓子を配布

東京カソード研究所：

議決権を行使した株主数に連動した義援金（1人当たり100円）を株主名義で行い、それと同額を会社名義でも追加して募金するという議決権行使連動型CSR

5 株主提案・議決権行使状況

株主提案は23社で行使（取り下げられた郷鉄工所を含む）。

ここ数年20社強という状況。

会社提案が否決されたのはニフコ：

監査役選任議案中、社外監査役候補者が顧問弁護士と同じ事務所に所属⇒外国人株主を中心に反対票が集まり、賛成率49.05%で否決。

～同総会で選任された補欠監査役が社外監査役に就任することで、監査役の半数以上は社外監査役でなければならないとする会社法335条3項への抵触を回避。

各社の臨時報告書によると、50%台の賛成率で何とか承認可決されたという議案もそれなりにある。

相対的に賛成率が低い議案：

買収防衛策、退職慰労金支給、社外役員（特に社外監査役）選任の各議案
⇒来年以降、これらの議案を付議する場合には機関投資家の動きに注意。

6 来場者数

東京電力の9,309人が最多。

ソニー、東芝、全日本空輸、みずほフィナンシャルグループなど大型会社では軒並み過去最多を記録した模様。

株主限定ライブを取りやめたエイベックス・グループ・ホールディングスは来場株主数が前年比85%減少。

株主懇談会を取りやめた日産自動車も前年比40%減少。

(総会後のイベントやお土産が楽しみという株主も多い。)